

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達相談センター・ベンチ（児童発達支援）		公表日		2025年 3月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		少人数グループのため活動に合った空間を確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・身支度・グループ活動・工作など、活動に応じて、児童が利用するスペースを分けている。 ・トイレに手すりがついている等バリアフリーに配慮した作りになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・机の角やコンセント等、危険と思われる場所にガードをしている。 ・ガラス戸にはカーテンをかけ、外の刺激が入らないよう配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	観察室兼小部屋を利用出来るようになってい	子どもサイズの椅子やテーブルがあるとよい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		スタッフからの情報を得て取り組んでいる。	常勤職員に限らず携わるすべてのスタッフから情報を得るなど、参画を促していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		面談などで得られた保護者等の意向について職員間で情報共有、話し合いを行い支援に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の打ち合わせやスタッフミーティングにて、課題や問題を明確にし、情報の共有化、意識向上に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在のところ第三者による外部評価を実施できていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・講座内容は開示され、選択も参加も自由なので受講しやすい機会確保されている。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		今年度より支援プログラムをHPに掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		日頃の様子やご家族との面談、園訪問（希望者のみ）等を行うことでニーズや課題の把握に努めている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援に関わるスタッフ間で常に情報を共有し、課題や問題を集約しながら計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		日々の活動が終わったあとに短時間ではあるが、振り返りを次週に活かせるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたものを参考にして独自のアセスメントシートを作成している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づいた、5領域・家族支援など、お子様やご家庭の意向に合わせて支援計画を作成している。		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	メインで立案するのは各担当者がローテーションで担っているが、多職種の専門職と連携しながらプログラムの企画・立案に取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・グループ活動は毎回変化をつけ、工作は季節を感じられるものや新しい情報を取り入れるなど工夫している。 ・クラス別・個別に難易度を調整するなどの配慮に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個々の特性に応じ、個別・集団を組み合わせた計画を個々に作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	開始前にミーティングを実施し、支援内容や役割分担を確認したうえで、スタッフ間で情報共有が出来るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後に職員間で振り返り、気付いた点は即時に報告しあうことで情報の共有や改善に努めている。	振り返りの時間を改めて取ることは難しい時もあるため、気付いた時の即時の報告や日誌への記載により情報共有に努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援終了後に毎日日誌・記録を記入し、支援方法の検証・改善に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	少なくとも6ヶ月に1回のアセスメント、保護者様へのアンケートや面談を実施し、ニーズと課題を分析したうえで見直し、個別支援計画を作成している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	保護者様のご希望に応じて対応させていただいている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者様のご希望に応じて対応させていただいている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者さまのご希望に応じて対応させていただいている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	適時、様々な研修に参加をしている。	必要に応じて、今後地域の児童発達センターとの連携等を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	保育所・幼稚園との併行通所のお子さまが多いため、特に実施していない。	「子どもの家」を活用する機会があるので、そこで開催される行事に参加する等を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	見学や面談、送迎時の申し送り、月に1度の体調ノートへのまとめや電話やメールなど、出来る限り保護者様に状況をお伝えできるよう努めている。	保育所送迎など立ち合いが難しい保護者様との情報共有については、ご要望に応じ個々の対応をしていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	市主催のペアトレや各種講習会のご案内をしている。	保護者様のご要望に応じた企画や、一緒に様々なことを考えたり、勉強できる機会が増えるよう検討していく。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時の面談において重要事項説明書を用い説明を行っている。	丁寧にお伝えできるよう今後も務めていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時の面談などで保護者様の意向を伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画を作成した際は、必ず保護者様に確認をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者より要望があった際には、個別で面談の機会を設けている。また見学や相談等も電話やメールで常時受け付けており、保護者の悩みを聞く機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		本年度は4月にグループ別説明会、6月に保護者会を開催した。	・保護者の方同士、きょうだい同士でのコミュニティの場が設けられていない。 ・保護者のニーズや意見を汲み取り、より機会の確保の充実を図りたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		要望や相談があった場合は即時に情報共有し、必要に応じた迅速な対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・1回/月以上のメール配信を行っており、行事予定等を保護者に配信している。 ・会報はご希望により紙媒体の配布にも対応している。 ・事業所評価や支援プログラムをHPにて公開している。 ・SNSは個人情報保護の観点から源氏のところ使用していない。	・一部SNSでの配信希望もあるが、保護者様それぞれの考え方や個人情報保護の観点から、情報の配信については慎重に扱う必要があると考えている。 ・ご要望に応じて、個々に対応していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に注意し取り扱っている。また、スタッフ間でプライバシー厳守の徹底をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性、発達に合わせ、伝え方の工夫、サインの使用、視覚的補助教材を使用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今のところ、計画していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを整備している。 ・保護者様へは入所時および年度初めの保護者会等で説明をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害発生を想定した避難訓練を実施するとともに、保護者様との災害時緊急連絡訓練を併せて実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入所時面談や書面への記入など、保護者様からの情報をもとに職員間で共有し、対応を行っている。	職員間の情報周知を促し、対応について確認する。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者様からの申請を受け、食物アレルギーの有無については書面にて確認している。 ・給食の提供の際はご要望に応じ対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・職員間で情報共有し事故防止に努めている。 ・所定の用紙に記入、データベースをファイル化している。	ヒヤリハットの際のフロー（報告や所定の用紙への記入）を職員間で周知し、口頭のみでの共有にならないようにしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人主催の虐待防止のための研修が確保されている。	事業所において情報共有するよう努めている。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	児童発達支援計画に身体拘束が予想される場合に記載することとしている。また、保護者会にて説明を行っている。	今後も丁寧な説明に努めていく。
----	--	---	--	-----------------